



～もっと地域と もっと地域へ～

かがやくえがお

第4号

令和8年 5月 1日
長崎市立小島小学校
校長 桐山 充晴

【学校教育目標】夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り拓く児童の育成

新しい年度が始まり、早ひと月が過ぎようとしています。学校を取り巻く木々の色も、淡い花の色から、鮮やかな新緑に変わり、季節が前に進んだことに気付きます。

少し緊張した様子が感じられた入学式の1年生でしたが、今では給食も始まり、休み時間にも元気に過ごす姿が見られ、うれしく思います。

新しいスタートの一か月間は、子供一人一人が自分の居場所を確認し、新しい環境に慣れるまでの落ち着いた日々だったはずです。

スタートから一気に走り続けた4月が終わります。ここで、一旦立ち止まり、一度深呼吸をしてから、次の一步を踏み出すとよいのではないのでしょうか。日々の学校生活でも、そして道路を横断するときも…あわてずに、ゆっくりと。そして、焦らず、ていねいに進めていけたらと思います。明日から連休後半（5連休）となるゴールデンウィークが明けると、5月には運動会があります。今年度も、昨年度と同様に午前中の開催としています。限られた時間の中で、子供たちが安全に、そして、元気に活躍できるように、全職員で支援してまいります。引き続きの御協力をお願いいたします。

授業参観・総会のお礼

今週の火曜日（28日）の授業参観並びに父母と教師の会総会への御参加、大変ありがとうございました。

新しい学年になって（入学して）初めての授業参観等でした。4月にふさわしい、「がんばるぞ!」という意欲が伝わる様子が多く見られたのではないのでしょうか。廊下から中をのぞいてみると、「いつもと同じように張り切っている子」「いつもと違って張り切っている子」など、緊張した中にも、それぞれの子供たちの意気込みを感じました。

このちょっとした変化を大人が見逃さず、褒めることができると良いですね。

また、開催された総会にも多くの方が出席していただいたことに対しお礼を申し上げます。

なお、総会に御出席できなかった方も含めた全御家庭に、tetoruにて学校経営に関する資料をお送りしています。お時間のあるときに御一読いただき、お尋ねになりたいことなどありましたら、遠慮なくお問い合わせください。



よりよい成長のために

先の記事にも書いたように、いよいよ明日からゴールデンウィーク（5連休）がスタートします。連休が明けると、運動会という一大イベントに向けての練習が始まります。

年度スタートしてすぐの時期ではありますが、これに向けての取組を通して、学級が一つにまとまり、一年間をやりきる大きなエネルギーとなります。

昔から教員の間では「行事は竹の節のようだ」と言われています。竹は中身が空洞で、伸びていくと節ができます。この構造は「軽さ」と「強さ」を合わせもつ理想的なものだそうです。学校での活動の大部分は学習や通常取組ですが、節である行事を目指した過程を大切にすることで、集団を大きく成長させることができます。行事当日を目指して、みんなで考え、協力して準備をすることを通して、学年や学級は集団として伸びていきます。

今年度も5月に運動会が実施されます。目標は、子供たちに成就感・達成感を持たせることで「自分はここまでできたという自信」を付けさせること、そして「仲間づくり」に繋げることです。

運動が得意な子もいればそうでない子もいます。しかし、どの子も自分なりの頑張りをを見せてくれます。毎日の練習で、体も疲れていくと思います。どうか御家庭で、しっかりと話を聞いていただき、小さな頑張りを認め、次への活力を与えていただければと思います。

地域・保護者のみなさま、運動会当日は、一生懸命がんばる子供たちたちに温かい声援をお願いいたします。

